

## 『防衛局の若手職員に聞いてみよう』

(2022年4月【後半】分放送)

2022年4月【後半】

MC : ○ それでは、管理部のEさんお願いします。

E : ○ 私は、先ほどもお話しさせていただきましたが、大学時代に学んだことを生かしたいと思い、近畿中部防衛局で働くことに決めました。ただ、学問として学んだことと実務では異なることも多いだろうと思っていました。しかし、業務を行うなかで、大学のゼミで住民の方々や企業から信頼を得ることが大切だと学んだことは、間違いではないとわかり、手ごたえを感じています。

○ 私が今年度に行った業務を2つご紹介します。1つめは、特別借受宿舎の買取りです。特別借受宿舎とは、自衛官の入居する宿舎、民間でいう社宅に当たりますが、この宿舎が国設の宿舎のみでは不足している状況でしたので、国家公務員共済組合連合会の資金によって建設された建物を国が借り受け、宿舎として運用してきたものです。

○ この宿舎を買い取り、国の持ち物とする業務を行いました。主に国家公務員共済組合連合会の担当者とのやり取りで手続きを進めていきますが、担当者ともまめな連絡や今後の流れの確認を丁寧に行うことで、信頼関係が生まれ、定められた期限までに滞りなく手続きを進めることができました。

○ 2つめは、航空自衛隊小松基地の周辺に所在する障害木を伐採、補償する業務です。小松基地は石川県小松市にあります。航空自衛隊の航空機が離着陸する際、飛行する表面の下に高い樹木などが生えていると、接触して事故につながりかねないことから、飛行安全のため樹木に高さ制限が設けられています。その制限を超えている樹木を、その土地の所有者に伐採してもらい、制限が設定される前から生えていた樹木には、国から補償金を支払います。

○ 国が行う行為については、何事にも根拠となる法律や基準が必要ですが、樹木の伐採と補償する金額について同意をもらう際に、所有者の方から出された要望については、基準等がないからといって門前払いすることなく、十分検討したうえで、制度上どうしても対応が不可能なものについては、相手方の理解が得られるまで粘り強く説得を行い、また逆に補償することが当然

の項目については、相手方から要望されなくても、相手方の身になって誠意をもって対処する姿勢を崩さないことで、信頼が得られるのだとわかりました。

- このように、業務を通じて自分の学んできたことが活きていると実感したとき、やりがいを感じますし、日々の業務を通じて一つ一つできることが増えたり、上司に任されたことをやり遂げて、自分では当然のことをしたと思っても、感謝の言葉や頼んで良かった、と言ってもらえるとこれからも頑張ろうという気持ちになります。

MC : ○ 土地の所有者さんや担当の方達と直接お会いし、お話をお聞きした上で、ご理解を頂かないといけないような機会も多く、なかなか大変なお仕事だと思いますが、Eさんは実際にご自身が仕事に携わってみて防衛省のイメージはどのように変わりましたか。

E : ○ 入省前に近畿中部防衛局では説明会のほかにも質問会や座談会が開かれていて、そちらに参加させて頂いていたので、気になっていることを質問できる場があり、大きな変化はそこまでありませんでした

- 強いて挙げるとすれば、質問会などに参加する前は、防衛省ということで、堅苦しい体育会系なのかなとか、毎日朝礼とラジオ体操があるのかなとか、体力がいるのかな、といったことを勝手に想像していました。実際はほとんどそのようなことはなく、親切であたたかい方々ばかりですし、朝礼もラジオ体操もありませんでした。主にデスクワークをしていますので、職場の最寄り駅の階段を上るだけで息が切れるくらい運動不足の私でも働くことができる職場でした。

- でも例外が一つだけあって、先ほど仕事のやりがいの話題のときに、航空自衛隊小松基地の周辺に所在する障害木を伐採、補償する業務についてお伝えしましたが、その業務の関係の出張は大変でした。ゴルフ場や竹やぶの中の木の高さを調べなければならなかったので、作業着を着て登山のように急斜面を登ったりしました。それは10年に一度ぐらいのレアな業務だったのですが、これは予想外の出来事でした。すべての部署でこのような出張があるわけではないと思いますので、受験予定の方は安心してくださいね。

- ほかには、入省前はテレビのニュースで見るとような防衛問題に直接関わる政策を考えたりするような業務を行うと思っていましたが、実際は間接的なものが多かったです。つまり、防衛のためのサポートを行う業務です。防衛のために働く方々がくつろぐことができる宿舍を購入すること、防衛のための訓練をする航空自衛隊の戦闘機が安心して離着陸できる環境を整えることなどです。おかげ様で不動産の購入手続きなどを経験することができ、様々な業務の上に日本の防衛が成り立っていると分かりました。
- 逆に行政と住民の方とは立場の違いもあるので、入省前は遠い距離感なのかと思っていました。しかし実際は想像以上に近く、近畿中部防衛局では直接住民の方と接する機会がよくありました。行政と地域住民の方はお互いに協力する、切り離すことができない関係であると再認識しました。
- また、入省前より防衛について身近に感じています。日本に住んでいるので、もちろん無関係ではありませんが、以前はどこか他人事と思っていたところがありました。今では以前より当事者意識を持つようになりました。入省前と入省後で防衛省へのイメージの変化は、どれも悪いギャップではなく、知ることができて良かったと思うものばかりです。

MC : ○ Eさんのお仕事も直接住民の方たちと接して大変なお仕事だと思います。是非、大学で学んだことを活かしてこれからも頑張ってください。ということと皆さんに実際に防衛省職員となってみて感じた仕事のやりがいについて聞きましたが、皆さん、それぞれ仕事にやりがいを持って働いておられると言うことがよく分かりました。

- それでは、ここで少し休憩。今日は若い皆さんにお越し頂いており、せっかくの機会なので、皆さんからそれぞれリクエストをお願いしたいと思いません。先ほどはAさんをお願いしましたが、今度はBさんからお願いします。

B : ○ それでは、中島みゆきの「ファイト」をお願いします。この曲は自分自身が朝仕事行くときにやる気を奮い立たせる曲です。今、来年に向けて受験の勉強をしている方などに聞いてもらって、改めてやる気を奮い立たせてもらって受験でいろいろ大変だと思いますが、頑張ってもらいたいのでこの曲にしました。受験生に限らず、今頑張っている皆さんに中島みゆきの「ファイト」、お聴き下さい。

～ ♪ ♪ ♪ ～

MC : ○ 先ほどは、皆さんに仕事のやりがいについてお聞かせ頂きました。ところで、仕事にやりがいを持って働けるようになるためには、働きやすい・働きがいのある職場であることが何よりも大切だと思います。パワハラ、セクハラなどのハラスメントや長時間労働の問題がマスコミなどでよく取り上げられていますが、皆さんの職場の雰囲気はどうか。

○ Bさんからお願いします。

B : ○ 私のいる会計課は非常にコミュニケーションをとりやすい環境です。上司の方はよく気にかけてくれるので、分からないところがあれば丁寧に教えてくれます。また、仕事だけでなく、気軽に談笑したり、同じ趣味を持つ人がいれば一緒に遊びに行くこともあります。

○ 最近では、会計課内の釣り好きが集まり、マス釣りに行きました。私自身マス釣りが初めてで、道具や知識など全くなかったですが、上司の方がとても詳しく、道具なりいろいろ貸して貰いながら釣りをしました。初めてでしたが、コツなどを教えてもらい数匹釣ることができました。釣ったものはそこで焼いて食べることができ、とてもおいしく楽しかったです。職場だけでなく、職場外でもこのように上司の方は優しく接してくれますし、一緒に楽しんだりできます。

○ 会計課内だけではなく、防衛局全体の交流もあります。今はコロナ禍で行っていませんが、以前は防衛局全体の若手職員だけで食事会、ボーリングやバーベキューなど楽しいイベントを開催したりして、他部課の若手職員との交流を深めてきました。

○ 若手だけでなく、他の部署の上の方とコミュニケーションをとることができる機会もあります。自己紹介でもお話しましたサッカーのことですが、防衛局内にもサッカーが好きな方がいまして、好きなもの同士で集まり定期的にフットサルもしています。そこで、いろんな方と話す機会があるので他の業務などを知ることができとても充実しています。

○ あと野球も好きなので、好きなもの同士でキャッチボールをしたりバッティングセンターに行ったりもします。強制参加とかはなく自分が好きなことや、参加したい時に参加できる自由な環境です。また、私が参加したサッカー

一や野球は経験者だけでなく初心者も参加しているのでかしまった感じではない溶け込みやすい雰囲気です。和気あいあいとしています。このような感じで仕事と仕事外のメリハリがしっかりしていて、気軽に相談や談笑ができる職場の雰囲気です。

MC : ○ 社会人になっても趣味を共有できる仲間がいるのは素晴らしいですね。Cさんはどうですか。

C : ○ 私が働いている職場は、近畿中部防衛局の中でも若手職員が多い部署なのですが、それぞれが上司や先輩と気軽に相談できる環境にあるので、普段から気軽に接してくださる上司や先輩方にはとても感謝しています。

MC : ○ 何でも相談できる風通しのよい職場って何よりだと思います。Dさんはどうですか。

D : ○ 職場の雰囲気としては、様々な働き方改革の取り組みも行われているので働きやすい環境ですね。職場や管理職の方が残業縮減を意識しているため、無駄な業務が減っていると思います。

○ それでも、長時間労働は健康面においても、また、個人の集中力低下により業務効率上からも支障があることが分かっていますので、課長や上司から残業縮減に向けての取り組みを厳しく指導されることが多いです。

MC : ○ 長時間労働の弊害は深刻な社会問題となっており、今やどの職場でも改善に向けての取り組みがなされていますが、そのような問題の改善を意識づけながら働くことを忘れてはいけませんね。それでは、また、最後でごめんなさい。Eさんお願いします。

E : ○ 私が所属している課は、優しくて、穏やかな人が多いし、私が困っていたらすぐに皆さん気が付いて助けてくださるので、何でも聞きやすいあたたかい雰囲気です。

○ 例えば、石川県の小松市によく出張に行くのですが、行動を共にする私の上司は、お昼休みなどの時間に、歌舞伎の「勸進帳」で有名な安宅の関という関所や、グライダーからジェット機までそろった航空機の博物館である航空プラザに連れて行って下さったり、ランチや夜ご飯を食べる際には、お寿司、インドカレー、おしゃれなハンバーガー、豆腐屋さんのうどんなど、美味しいお店をたくさん紹介して下さる素敵な上司です。

- ちなみに、出張先で食べたもののなかでいちばん美味しかったものは、白子の天ぷらです。痛風になりそうな食べ物は大抵大好きなのですが、そのときの白子は感動して体温が上がるくらい美味しかったです。次一緒に石川へ行く機会があればカニを食べようという話をされていて、楽しみです。
  - 他の課の方とも仕事で関わる機会があるのですが、皆さん分からないことを丁寧に教えてくださいまして、フレンドリーに接してくださる方が多いです。
  - その他には、部署や時期にもよると思いますが、私は残業をほとんどしたことがなく、いつも定時で帰らせて頂いています。なので、退勤後に美味しいものを食べに行ったり、帰り道で寄り道して買い物したりできます。
  - それから、有給休暇もとても取りやすいです。自分の系の繁忙期さえ避ければ、休みたいときに休むことができます。ワークライフバランスが良いので、趣味などプライベートも充実させることができます。ですので、旅行が好きな人は、近畿中部防衛局に来ていただければ、今はコロナもあるので難しいかもしれませんが、社会人になっても旅行に行きやすいと思います。ということで、私にとって近畿中部防衛局はとても働きやすい職場です。
- MC : ○ 個人の働き方や人生を豊かにするワークライフバランスの充実は本当に大切なことだと思います。皆さんのお話を聞いていてとても働きやすい職場であることが分かり安心しました。それでは、ここで少し休憩。今度はCさんからリクエストをお願いします。
- C : ○ 私のリクエスト曲は、GReeeeNの「花唄」という曲です。アップテンポな曲調で明るく前向きな歌詞が特徴的です。仕事に向かう通勤中などでやる気を出すためによく聞いています。それでは、GReeeeNの「花唄」、お聴き下さい。
- ～ ♪ ♪ ♪ ～
- MC : ○ それでは、ここからは話題を変えて皆さんお休みの日なんかはどのように過ごされているのかとっても興味があります。是非、聞かせて貰えませんか。少し順番を変えて管理部のEさんからお願いします。
- E : ○ 私は休日は主にどこかに遊びに行ったり美味しいものを食べに行ったりしています。最近だと、京都の天橋立の近くにグランピングをしに行きました。グランピングというのは、始めから宿泊施設が建てられていてお風呂などの設備も整っています。食材なども用意されているので、キャンプより気軽に

楽しむことができました。ほかには少し足を延ばして仙台や広島に旅行に行ったり、岐阜までドライブしたり、カフェ巡りをしたり、買い物をしたりしています。

- コロナ以前は METROCK や RADIO CRAZY などの音楽フェスに行って、人にもまれながら生の音楽を楽しむのが好きだったのですが、今は難しいですね。引き続き音楽はよく聴いています。親の影響もあって、ラジオやライブ映像など常に家の中では音楽が鳴っている気がします。
- 外出できない時期や特に用事の無い日は、家で映画やドラマを観たり、漫画を読んだりゲームをしたりしています。映画は邦画が観やすいのでよく観ます。洋画は吹替があまり得意ではなくて、観るなら字幕がいいのですが、字幕を追うのは疲れるので邦画をよく観ます。緊急事態宣言中は夜通し映画を観るといって、映画合宿を一人でしていました。最近観たもので良かったのは、少し前のものですが宮沢りえさん主演の「湯を沸かすほどの熱い愛」という作品です。家族とは何か考えさせられました。面白かったので気になる方はぜひ。
- あと、子供のころからドラマが大好きで、今でも毎クール色々なドラマを観ています。平日録り溜めたドラマを観るのは休日の日課です。録画時間の容量が常に不足していて、家族から早く観て消してってよく怒られます。
- 漫画もよく読むのですが、夢中で読んでいると朝になって夜になって気がついたら一日経過しているということが日常茶飯事です。はまってしまうと読み始めたら止まらないです。最新話に追いつくと続きが気になって仕方がないので、完結済みのもののほうが気にせず読めるのですが、最終話まで読んだら読んだで喪失感がすごいです。今は大人気の東京リベンジャーズや僕のヒーローアカデミアなど何作品か並行して読んでいるのですが、一推しはワールドトリガーです。
- このような感じで、やりたいことが多すぎて、疲れ果てる休日です。月曜日へとへとで出勤して、火曜日水曜日とだんだん元気になっていきます。疲れが極限までたまった休日は死んだように寝て過ごします。

MC : ○ 若いっていいですね。うらやましいです。調達部のDさんはどうですか。

D : ○ はい。私の休日の過ごし方ですが、最近だと家にずっといることが多いで

すね。私の趣味はプロ野球観戦で、今の時期だと各チームがプロ野球の開幕に向けてキャンプを行っているので、自分の見たいチームや選手の様子をテレビ中継で見えています。コロナが流行るまでは、実際に野球場に足を運んで試合を観戦したりしていました。球場での応援やボールを打った瞬間の音にも迫力があり、テレビで見る試合とはまた違う楽しさがあります。球場で応援しているチームが得点したときには、周囲の観客の人たちと一緒に盛り上がったことも楽しいですね。近畿地方だと、オリックス・バファローズと阪神タイガースが拠点を置いていますので色々な組み合わせの試合を楽しむことができます。

- プロ野球中継以外では主に Youtube の配信を見ていることが多いですね。最近だとライブ配信を見ていることが多いです。ゲーム実況や雑談・歌を歌っている配信を見えています。配信者がたくさんいて、どの配信も楽しく見てしまうので気づいたら外が暗くなっていることがしょっちゅうです。昼に休日の日中に配信をしている方から、平日・土日問わず夜に配信をしている方もいるので、朝起きてから何人かを見ている内に朝まで見ている日もあります。
- あとはカードゲームが好きなので、カードショップに行くことがしばしばありますね。大阪だと難波と梅田にカードショップが多く、難波ではオタロードと呼ばれる道があります。その周辺では、カードや漫画が多く取りそろえられているのでどこのお店も長居してしまうことが多いですね。カードショップで大きいところでは買ったカードをそのまま使って遊んだり、週末では大会が開かれていたりします。学生の頃だと大会にも参加していたりしていましたが、今だとカードを集めることが楽しくなってきましたのでショップ内のショーケースを眺めたりすることが多いです。またコロナが収束すれば、もう少し足を伸ばして他県の店ものぞいてみたいですね。

MC : ○ 皆さん、さすがに若いだけあって体力もりもりですね。私なんか聞いているだけで疲れてきました。(笑) 企画部の C さんはどうですか。

C : ○ 私もコロナウイルスなどのこともあり、最近は外出を控え家にいることが多いです。家でゆっくりしながらアニメや映画を見たりするのですが、コロナウイルスが流行る前は外出することが多かったのですが、また、新しい休日の

楽しみ方ができたかと前向きに考えるようにしています。とは言いながらも、やはり何も気にせずスポーツしたり、外出できる世の中に早く戻ってほしいです。

MC : ○ 自分の置かれた環境の中で何ごともCさんのようにポジティブに考えるのは大切ですよね。私も見習いたいです。最後です。総務部のBさんはどうですか。

B : ○ 私はアウトドア派なので、家でじっとしているよりも、キャンプや登山、釣りなどをして休日を過ごすことが多いです。また、夏休みなどの休暇では、よく旅行に出かけます。ただ、今はコロナ禍なので家で映画やドラマ、スポーツ観戦をすることが多いです。

○ 余談ですが、最近見た映画で『事故物件 怖い間取り』という映画は一番印象に残っています。私自身ほんとにビビりで、普段ホラー系は見ないですが、会計課の同僚のおすすめで見ました。タイトルのとおり事故物件に住んでいろいろな恐怖の現象が起こる映画ですが、わりとビビりながらもみることができました。なぜ見れたかという面白かったということもありますが、勉強にもなったからです。入省してずっと一人暮らしで今後、転勤でいろいろな家に住むと思いますが、事故物件ではないかの確認は絶対に必要だと思いました。

○ 事故物件でも一度誰かが住むと不動産から住居希望人に申告する義務がなくなるらしく、自分で聞かないと教えて貰えないそうです。今後に活かせる映画だなと思いました。かなり話がそれてしまいました。

○ この通り、コロナ禍もあって、なるべく外出を控えています。ずっと家にいるのが辛くなったときは人通りがなるべく少ない道を選び、散歩をします。普段、行かないようなところを散歩するので、新たな発見やコロナが落ち着いたら行ってみたいご飯屋さんなど見つけ、いいリフレッシュになっています。またもや余談ですが、一時期散歩にはまりすぎて、一日15Km歩いていました。意外と全然疲れませんでした。以上、このように休日を過ごしています。

MC : ○ コロナ禍の中でも皆さん、それなりに充実した余暇を過ごされ、仕事とプライベートをしっかりと両立していることがよく分かり安心しました。それでは、今度はDさんからリクエストをお願いします。

D : ○ 私のリクエストは大空スバルの「太陽少女」、大空スバルはバーチャルアイドルですが、いつもこの曲を聴くと、気分が明るくなる大好きな曲だからです。大空スバルの「太陽少女」、お聴き下さい。

～ ♪ ♪ ♪ ～

MC : ○ それでは、最後の質問になりますが、この放送を聞いた就活中の人の中には防衛省職員というお仕事にとっても興味を持たれた方もいると思います。その人たちのために、皆さんが就職する前に思い描いていた防衛省のイメージと就職後のイメージの変化や、防衛省を目指す就活中の皆さんへの励ましとなる熱い心強いメッセージなどがありましたらお願いします。これも、まず、Aさんからお手本をお願いします。 (笑)

A : ○ 今みなさんが行っている受験勉強や、今後行うことになる就職活動は、今後の人生を大きく左右することになります。自分になりたい姿にどうしたら近づけるのか、理想と現実を見たうえで今一度自分自身で考えてみてください。その中で防衛省を選んでいただけるのであれば、仲間として、私たちは全力で皆さんを歓迎します。

MC : ○ 非常に簡潔ながら就活中の皆さんにとって、人生の先輩からの心強いメッセージになったと思います。それでは、続いてBさんお願いします。

B : ○ 防衛省イコール自衛官ではなく、事務官も多くいるのでとてもなじみやすい職場だと思います。また、自衛官の方も気さくで優しい方が多いのでとても話しやすいと思います。入省すると、普段一般ではなかなか見ることのできない基地の中などに入ることができるので、楽しい一面もあります。仕事面では、若手であっても雑用だけでなく、上司の支えも得ながら大きな仕事を任せて貰えることができるのでとてもやりがいのある仕事だと思います。

○ 入省するところ最近ではコロナでできてないと思いますが、初任研修といった、全国の採用同期が一つの場所に集まり、1週間共に生活をし、社会人としての礼儀やマナーなどを学ぶ研修があります。そこでできた同期とは今でも連絡を取ったり、仕事のつながりがあればお互いに教えあうことが出来る、いい関係性を持つことが出来ます。ともかく全国に多くの同期がいるので、転勤があっても初めから全員知らない人ばかりの環境はあまりないと思うの

で、不安に感じる必要はないと思いますので、転勤が不安だと思っている方は安心してください。入省前は私も転勤が不安でしたが、仕事をするにつれて各防衛局に知っている人が増えていきますので心配な方はそこまで気にしなくて大丈夫だと思います。

- 公務員を目指して就活中の皆さん、受験勉強で大変だと思いますが防衛省の仕事は国防に係る重要な業務なのでとてもやりがいのある仕事だと思います。頑張ってください。

MC : ○ 仲間が全国にいるっていうことは素晴らしい財産ですね。それでは、Cさんお願いします。

- C : ○ 先ほどもお話しましたが、防衛省だと自衛隊のイメージが強く上下関係とか厳しいのかなと心配していたのですが、優しく接してくださる上司や先輩の方々ばかりなので皆さん安心して防衛省を志望して下さい。（笑）

- 私自身が近畿中部防衛局を志望したのも、実際に当時の業務説明会に参加した際に、職員の方々と接する機会があり職場の雰囲気良さそうだなと思ったのも決め手の1つでした。公務員を目指している皆さんも試験勉強などとても大変なことだらけだとは思いますが、将来の自分のためと思って頑張ってください。

MC : ○ 今日の若手の皆さんのお話を聴いて、防衛省に興味を持たれた方もたくさんいらっしゃると思います。近畿中部防衛局、働き易い職場だと思います。私からもお薦めします。（笑）それでは、Dさんお願いします。

- D : ○ 全国転勤と聞くとマイナスイメージに捉えがちですが、全国に働く場があることから、活動範囲や行きたいところが広がると考えたり、いろいろな業務に取り組んだり経験したりできることは、ご自身の知識や能力を高める自己研鑽の絶好の機会だと考えればとても充実した生活を送ることができると思います。私はまだ転勤を経験しているわけではありませんが、転勤先はいずれも都市部ですので、趣味のプロ野球観戦がそれぞれの球場でできるのを楽しみにしています。

- また防衛技官としてでは自衛隊基地ならではの工事もあります。私が設備課所属時に担当した工事では、エンジンの消音装置の改修工事で検査時にはエンジンを実際に稼働して消音機能の測定に立ち会いジェット機の迫力を間

近で体験できたことはとても楽しい経験でした。他にもまだまだ自衛隊等の防衛施設を取り扱う防衛省だからこそ経験できるような工事がありますので、是非防衛省の説明会に参加してみてください。

MC : ○ 何ごとも気持ちの持ちようだと思います。型にはまらず経験することで新しく見えてくるものや出会いもあると思います。Dさん、これからたくさん経験の積み重ねて行って下さい。最後になりましたが、Eさんお願いします。

E : ○ 入省してまだ1年も経っていませんが、防衛に携わることができる魅力はもちろん、それ以外にも数多くの良さがあると感じています。先ほど濱村さんからもお話がありましたように、防衛省には本当に色々な業務を色々な立場で行う機会があると分かりました。これだけ様々な業務に一つの省庁で携われることはそうそうないと思います。

○ 人と関わるのが好きな人、海外への関心が高い人、デスクワークがしたい人、出張に行きたい人、やりたいことや好きなことは人それぞれだと思いますが、自分の強みを生かせる業務や興味を持てる分野が何かしらあるはずなので、今防衛省を目指している人も、どうしようか悩んでいる人も是非一度説明会に参加して頂きたいです。私自身、始めから防衛省を目指していたわけではなく説明会に参加して興味を持ち始めました。きっとみなさんも想像とは違った新しい発見があると思います。

○ 文系も理系も高卒の人も社会人経験がある人も、出身地も様々の、本当に色々な人が色々なところから集まって、同じ組織の中で働いています。高校や大学まで進学すると、ある程度学力のレベルが近かったり、興味のある物事が同じだったりして、周りには小学校や中学校の頃よりは似たような人が多くなって、一緒に過ごす人も似たような人が増えると思います。でも、防衛省に入省することで、社会人になって再び全然違う人たちに出会うことができ、同じ部署で一緒に仕事ができる面白さがあります。

○ 防衛省には北海道から沖縄まで全国8か所に防衛局があるので、各地に行くことができる可能性もあります。様々な環境に身を置く経験ができたり、違う土地の人と触れ合える機会は他の省庁にはない防衛省の良さだと思います。

- ちなみに私は最終的に大阪市との二択で迷っていたのですが、大阪出身で大阪で育って大阪で働いてとなると、大阪以外で暮らすことのない、大阪以外を知らない人生になってしまうので、それは面白くないかな、と思って防衛省に決めました。
- 他の都道府県で働いたら、会いたい人に会えなくなるのではないかという不安もありましたが、家族や友達とも連絡は取れますし、帰ろうと思えば週末1泊2日で地元に戻ることもできることに気が付きました。転勤と聞くとマイナスのイメージが強いかもしれませんが、考え方によってはプラマイプラスになると思います。受験生の皆さん、防衛省でお会いできるのを楽しみにしておりますので、頑張ってください。応援しています。
- MC : ○ ありがとうございます。就活中の皆さんに非常に分かり易く伝えて貰えたと思います。防衛局の若手職員の皆さんに聴いてみようということで、先月と今月の2回に分けてお送りしてきました。さすがに選ばれた皆さんだけあって、どのテーマも真摯にお話下さり、とっても興味深く聴かせて頂きました。
- 非常に名残り惜しいところですが、そろそろお時間が来てしまいました。また、機会があればこのような場を設けてもっともっと皆さん、令和に生きる若者の生の声を聴かせて貰えたらと思います。皆さん、今日はありがとうございました。今後、なお一層のご活躍を期待しています。
- それでは、最後はEさんからのリクエストでかりゆし5 <sup>ごじゅうはち</sup> 8の「オワリはじまり」を聞きながらお別れしたいと思います。Eさんは、どうしてこの曲を選んだんですか。
- E : ○ この曲を聴きながらお別れとのこと、大学生のときのサークルの引退式やカラオケの最後にいつも歌っているものを選びました。この曲を聴くと、周りの人たちと今の一瞬を大切にしようと思いますし、前を向いて進んでいく勇気が出ます。別れと始まりの思い出の曲です。
- MC : ○ 最後までこの放送をお聴き下さり有り難うございました。それでは、最後の曲となります。バンド名の「かりゆし」とは沖縄の方言で「縁起がいい・めでたい」という意味だそうです。本日、お越し下さった近畿中部防衛局の皆さん、そして何よりこの放送をお聴き下さっている皆さんにたくさんの「縁

起がいい・めでたい」ことが訪れることを願い、かりゆし58の「オワリはじまり」、お聴き下さい。

～ ♪ ♪ ♪ ～

(後半完)